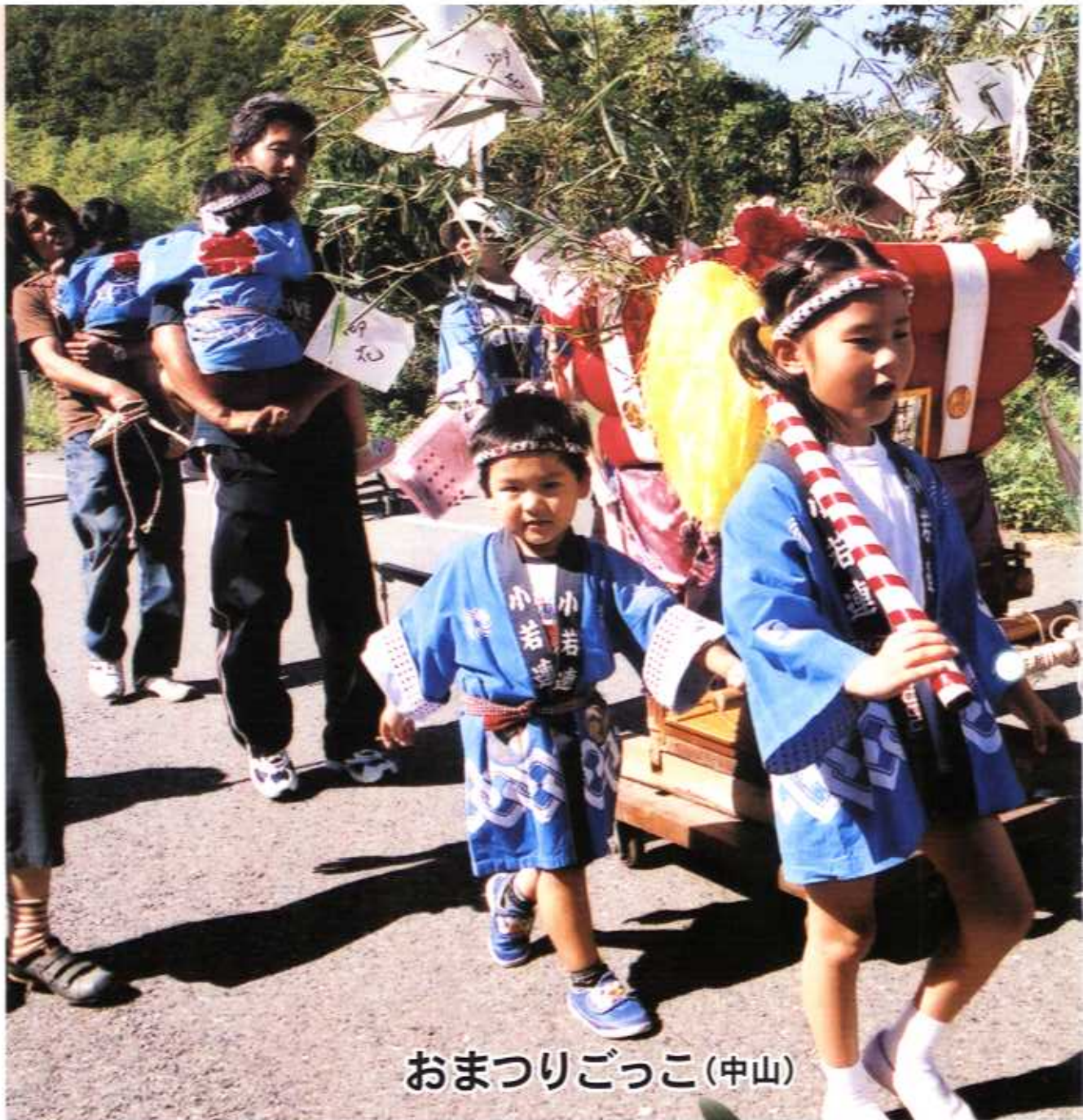




しよらごじま町



おまつりごっこ(中山)

議会だより



11

2007年 No.6
平成19年11月1日発行

- 審議議案 P2~3
- 一般質問 P4~8
10名の議員が質問
- 委員会活動報告 P9

■発行/小豆島町議会 ■編集/小豆島町議会広報編集委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

～新しいまちづくりをめざして～

「小豆島町総合計画」策定

第3回定例会を9月18日、20日に開催し、第1日目は一般質問、答弁が行われ、町長から提出された「人権擁護委員の推薦」に同意する案件をはじめ、「条例の一部改正」2件、「平成18年度歳入歳出決算認定」、「小豆島町総合計画の策定」、「町道路線の認定」について審議しました。

なお、「町道路線の認定」については、19日の建設経済常任委員会に付託し、「決算認定」については、決算特別委員会を設置し、閉会中に審議することになりました。ほかの議案については、原案どおり可決しました。

第2日目は、付託議案の採択や「平成19年度各会計補正予算」など3件、議員発議による「意見書」1件が提案され、原案どおり可決しました。

審議した主な議案

人権擁護委員に

日向育子氏を選任



日向 育子 氏

人権擁護委員は日向育子氏のほか、次の方々です。

- 森川 桂輔氏 (西村)
- 佃 豊年氏 (福田)
- 三木 良榮氏 (苗羽)
- 中武 義景氏 (安田)
- 森口 祐三氏 (蒲野)
- 岡 脩氏 (室生)

人権擁護委員の平井美恵子氏の急逝に伴い、その後任として日向育子氏(池田)を選任することに決定しました。

平井美恵子氏のあまりに突然のご逝去、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

補正予算

一般会計(第3号)

補正予算額は5766万1千円の増額で、補正後の予算総額は79億8733万9千円となります。

主なものは、次のとおりです。

- 民生費
 - 後期高齢者医療制度システム開発委託料等 1506万8千円
 - 国民健康保険事業特別会

国民健康保険事業 特別会計(第1号)

補正予算額は2758万2千円の増額で、補正後の予算総額は22億902万3千円となります。

主なものは、次のとおりです。

- ・後期高齢者医療制度システム開発委託料 876万8千円
- ・療養給付費等交付金返還金 1881万4千円

条例の一部改正

○小豆島町長の資産等の公開に関する条例

郵政民営化法の施行に伴う郵便貯金法等の廃止、証券取引法の法律名が金融商品取引法に改題されたことに伴い、町長の資産等の公開に関する条例で、資産等報告書の記載事項のうち、郵便貯金の削除、金銭信託の追加及び法律の名称変更するものです。

○小豆島町病院事業の設置等に関する条例

介護保険によるリハビリテーション受診を可能にするため、みなし指定で実施している事業を含め病院事業に介護サービスを加えるものです。

計繰出金62.6万8千円
あすなろの家運営委託料
326万2千円
障害者訓練等給付費
△474万4千円

○農林水産業費

諸口地区頭首工整備工事 743万円
橋地区漁具保管庫復旧工事 497万円

○商工費

小豆島オリブ公園指定管理料 1800万円
○教育費
旧西村幼稚園整備工事 300万円



町道現地調査

- ・建設経済常任委員会に付託し、現地調査の結果、原案どおり可決しました。
- ・路線名 麓南線
- ・起点 室生字麓
- ・終点 室生字麓
- ・延長 120m
- ・幅員 3.0m
- ・74番地1
- ・180番地1

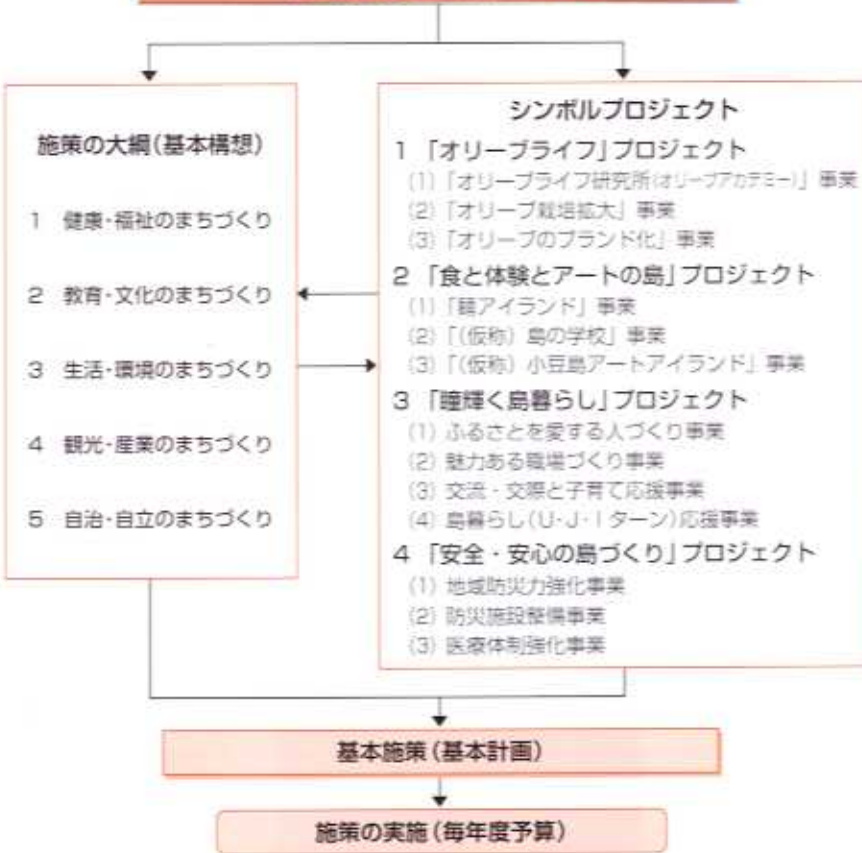
町道の認定

町道麓南線は、室生漁港と集落及び町道麓線とを結ぶ路線で、生活道路として重要な役割を担っており、町道として管理する必要があり、管理する必要があると思われるので、新たに認定しようとするものです。

シンボルプロジェクトの位置づけ

オリーブライフ 小豆島

～煌く海、睡輝く、実りのまち～



新たな町政運営目標とその実現に向けた方策を明確化し、計画的、持続的な行政運営を推進するため、長期的な指針となる総合計画が提案され、原案どおり可決しました。

またの将来像「オリーブライフ 小豆島 煌く海、睡輝く、実りのまち」の実現に向けて、住民と行

この4つの戦略的な「シンボルプロジェクト」への集中的な取り組みにより、全国・世界に輝く、自然と人、産業がキラリと光る、安らぎとふれあいのあるまちづくりを進めます。

小豆島町総合計画策定

政が協働し、4つの「シンボルプロジェクト」(戦略プロジェクト)に取り組みます。

意見書

○公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

建設産業は日本の基幹産業として今日まで経済活動と雇用機会の確保に貢献してきたが、建設業における元請と下請という重層的な関係の中で、他の産業では常識とされる明確な賃金体系が現在も不安定であり、不況下における受注競争の激化や近年の公共工事の減少が施工単価や労務費の引き下げにつながり、現場で働く労働者の賃金と生活に大きな影響を及ぼしている。諸外国では、公契約に係る賃金を確保する法律、いわゆる「公契約法」の制定が進んでおり、また、平成13年4月に施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の国会審議においても、参議院で「建設労働者の賃金、労働条件の確保が適切に行われるよう努めること」が附帯決議されている。よって、国においては、建設労働者の適正な労働条件を確保するために、次の事項について実施するよう強く要請するものである。

記

1. 公共工事において建設労働者の適正な賃金が確保されるよう公契約法の制定を検討すること。
 2. 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議事項の実効ある施策を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年9月20日

香川県小豆郡小豆島町議会

提出先

内閣総理大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣
衆議院議長・参議院議長

一般質問

内海地区の小学校について



森口 久士 議員

森口議員 8月6日に開催の教育民生常任委員会、小学校の検討委員会をできるだけ早く設置したい、現在どういうかたち、人選がよいか検討中とのことだが、いつ頃設置するのか。

答弁 「小豆島町立学校施設整備基本計画策定委員会」(仮称)を設置し平成20年度にかけて、町内全ての教育施設の在り方について検討する必要があり、委員の人選は、幅広く専門性などを総合的に判断、慎重に行います。統合問題は、見

- | | |
|----------|----------|
| 森口 久士 議員 | 藤井 源詞 議員 |
| 谷 清 議員 | 森 崇 議員 |
| 浜口 勇 議員 | 新茶 善昭 議員 |
| 村上 久美 議員 | 中江 正 議員 |
| 安井 信之 議員 | 鍋谷員由美 議員 |

【傍聴者 24名】

児童生徒数の推移からも避けて通れない。中長期的な視点に立ち検討を行っていた。10月中旬に設置し、第1回目の委員会を開催できるような準備を進めていきます。子どもたちにとって、よりよい教育環境を確保することが最優先されるべきであると考えています。

高潮対策について

森口議員 国へ内海沿岸高潮対策事業の平成20年度新規採択への要望をしている。しかし、旧池田町内のうち、町管理港湾・漁港の背後地で、被災した地域の計画がないが、今後の対応は。

答弁 町管理の港湾や漁港を含め、町が主体となって整備すべきになっている箇所と延長は膨大であり、より有利な補助事業を模索しながら、町財政の許す範囲で、整備効果の大きいところから、順次整備していきたいと考えています。

農業用ため池の見直しをすべきでは



谷 清 議員

谷議員 最近高齢化と後継者不足で荒廃している田が多く見かける。昔から田の上流にはため池があり、稲作が行われていたが、地目変更で面積も激減し、池は



平成16年の高潮の水位(神浦地区)

必要ない所もある。しかも修繕が必要となれば経費もかさむ。このような池は理め立て、活用しては。

答弁 香川県では平成18年7月に「小規模ため池保全検討委員会」を設置し、適正な保全管理方針について検討中で、用途廃止を容認する方向でも検討され、今年度中に結論が出るのではないかと聞いています。

U・J・Jターンの促進について

谷議員 定住人口の増加をめざし、空き家、用地、雇用の受け入れ体制がとられているが、今までに良い方向で進んでいるのか進捗状況をうかがいたい。

答弁 4月に町ホームページに「移住推進コーナー」を掲載したところ、5月初めより問い合わせが33件あり、個別に対応してきたが9月から一世帯2名が移住相談者第1号として実現しました。

図書館の正月開館は出来ないか

谷議員 正月に帰省する中に受験勉強を控えた学生もいる。

勉学の間として図書館を正月に開館してほしいがどうか。

答弁 県下の状況を調査した。年末年始に開館しているところは少ないが、住民サービスとの観点から、図書館協議会に諮るよう指示したいと考えています。



養生場池(小坪)

不景気対策について



浜口 秀 議員

浜口議員 町内の企業は将来、存続できるかどうか、多くの経営者は不安を持っている。

町長は現況をどう認識し、その対策はないのか。

合併後の感想を問う

浜口議員 小豆島町になって1年半が経過したが、どんな問題がでてきて、どう対処していくのか。

答弁 分庁舎方式のデメリット、特に効率性の改善のため、遅くとも平成25年度中には、本庁舎方式へ転換します。オリブ100周年という小豆島の歴史的節目に向け、町民一体となった機運の醸成を図るべく、

答弁 本町の食品産業は、原油や原材料の高騰、国内外製品との価格競争による利益率の低下など、厳しい経営環境にあるものと認識しています。

対策として、各種融資制度に関する情報提供とともに、金融機関などとの連携を密にし、迅速な事務処理に努めています。小豆島町の活性化には、産業振興が不可欠と考えており、各種施策を展開していきます。

各種事業を進めています。

年金着服再調査は

浜口議員 年金への不信は国民に浸透している。その原因の一つに年金着服問題がある。再調査の指示があり、その結果はどうか。

答弁 小豆島町にも8月に第一次、9月に再調査の依頼がきました。着服事案はありません。



地域に貢献する食品産業

要介護認定者の障害者控除について



村上 久美 議員

村上議員 要介護認定者の障害者控除は障害者手帳がなくても65歳以上の要介護認定者は一定の基準に該当し、「身体障害者又は、知的障害者に準じる」と認められた時は、障害者控除が受けられるもので、認定受

付申請が受けられるよう要綱の整備と町民へ周知徹底を図るべきでは。

答弁 要介護認定者から障害者控除の申請があれば、保健師などにより、生活状況の調査、他の意見書を参考に個別に判定を行い、その結果で認定書を発行します。

このような事情により要綱の制定や、認定者全員の方への通知は考えていません。

森林整備事業の積極的展開を

村上議員 森林の荒廃や水資源の確保、山地災害防止、森林環境教育などの観点から県補助事業とともに町独自財源を確保した事業を実施すべきでは。

答弁 山林の維持保全や造林、整備には所有者の取り組み減少により厳しい状況にあるが、県と連携し山林が有する公益的多面機能の保全対策に努めます。

不公正な同和対策事業の終結を

村上議員 特別措置法失効で今なお不公正な同和対策事業継続は住民の理解を得られません。2008年度予算は。

答弁 同和事業の廃止、一般対策への移行は、新年度の予算編成とともに、地域の実情をみながらあらゆる問題に対応していきます。



手入れが求められる山林

臨時（嘱託）職員の待遇について



安井 信之 議員

安井議員 合併を期に臨時職員の退職金制度が廃止になりましたが、それは民間では単なる臨時職員の退職金は無く制度としておかしいということであった。

嘱託職員は臨時職員として、正職員と同じ作業を行っております。最近になってヘルパーの公募をしたところ応募者がなかったと聞いているが、それは民間の同業者と待遇面でかなり差があるのでは。

今の財政状況を考えてとすべての嘱託職員を正職員というのは難しく、せめて退職金制度・資格手当など検討しては。

答弁 合併時に、新たに「小豆島町臨時職員等に関する要領」を策定しましたが、本来、臨時的な任用に長期

雇用は想定されていないとの考え方から、退職報奨金に関する規定は定めませんでした。より簡素で効率的な行財政運営が求められる中、今後も集中改革プランに基づき、新たな視点で職

員数の削減を計画的に推進したいと考えています。先の臨時職員等に関する要領では、臨時・嘱託職員間のバランスには留意しましたが、個々の職種について民間企業との比較検討までには至っていません。しかし、これを機に、研究、検討をしていきたいと考えています。



業務に励む職員（訪問介護）

新庁舎の位置を早く決定すべきでは



藤井 源詞 議員

藤井議員 小豆島のこれからを思う時、新庁舎の位置を出来る限り早い時点で決定しておくことが大切だと思います。

新庁舎が小豆島の中心となることが、2町で合併を実行した意義であると思ふ。

私は、新庁舎を池田中学校の位置として決定することから、学校統合の計画そして交通問題と具体的に進むことができるのでは。

今後、土庄町との合併を考えるならば、我が小豆島町の新庁舎について、基本計画がなくてはならぬものと思うが。

答弁 庁舎問題については、施政方針でも述べましたが、分庁舎方式の欠点が予想以上に早く現われて、



昭和30年建設の内海庁舎

住民の方に不便をかける事例も出ています。行財政効率化の妨げにもなっており、早急に庁舎のあり方を見直すことが不可欠です。

庁舎の位置問題については、議会で特別委員会を設置していただき議論を願いたいと考えています。

私の考えは、旧3町行政の真ん中である池田地区が適地と考えています。土庄町との合併については、島は一つという理念が必要であり、その方向性についても以前から変わっていません。

内海ダム再開発のていねいな説明を



森 崇 議員

森議員 ダム反対チラシの「科学的根拠」の主張に問題がある。貯水量106万トン。香川のダムやため池に比べ23番目で普通のダムであり、巨大ダムは言い過ぎだ。

別当川の歴史・200万年以上前の断層（人間は一万年前）・緑のダム・寒霞溪の景観・災害の分析など間違っ流布され問題だ。町民に丁寧な説明が必要だ。

答弁 内海ダム再開発については、ダムニュースやホームページで知らせています。

理解が得られていない点や不安の払拭について、丁寧な説明に努めます。



○印が内海ダム 再開発して15mほど高くなる（スカイライン道路より）

生活保護問題

こころ

森議員 県事務所が3年前生活保護世帯を激減させた後遺症が残っている。親身になった町の相談が必要だ。

答弁 保護受給者は現在172世帯255名であり、1世帯5名の微増です。基準に従い町ができることを適切に行っていきたいと思います。

地元企業・商店の多面的機能について

森議員 農業の多面的機能に学び地元商店の活動を多面的機能として位置づけし条例化し「やりがいと希望」が持てるようにすべきだ。

答弁 地元企業・商店は企業活動以外に地域に貢献する多面的機能を有しています。しかし条例化には馴染まないと考えています。

木庄川の
高潮対策を完璧に

森議員 高潮対策は雨漏りを直すのと同じだ。個人の

小さい排水口を含め完璧な対策をすべきだ。

答弁 財政のこともあり町民から相談があればアドバイスし完璧に近い対策に努めます。

投票所など公共施設の
バリアフリー化を



新茶 善昭 議員

答弁 選挙時の投票所として使用する公共施設などについては、従来から利便性が高いこと、障害者を含む

社会的弱者への物理的障害が極力少ないことを考慮し選定しています。しかし、完全にバリアフリーである施設は少ない状況にあり、仮設スロープの設置や職員の見助により選挙人の利便性並びに安全性の確保に努めています。
小豆島町総合計画において、年齢、障害の有無に関わらず平等に便利性を享受できる町づくりをめざし、すべての町民が選挙のみならず広く社会参加できる環境整備を推進します。

新茶議員 草壁本町の投票所は、最近まで星城小学校で、長い階段を上がらねばならず老人や障害者は大変だった。ここ2回は、本町会館でしたが、ここにも階段がある。投票は、町民の権利であり義務である。
高齢化の進む現在、投票率アップへ、公共施設すべてをバリアフリーにしては、トイレについても、旧来のままが多く、老人、障害者にはつらく、洋式化も急務だと思うが。



改良が待たれる本町会館（草壁）

小豆島の公共交通の安定確保について



中江 正 議員

中江議員 「少し考えてみませんか？クルマと公共交通のこと」というパンフレットには、公共交通が安全な交通手段であり、渋滞解消に役立つ、地球環境にやさしいなどの説明がある。しかし、バス利用者は大幅に減少、私鉄のバス路線が廃止。今では町営バスなどコミュニティバスでやりくりしていることを記載している。

小豆島バスはやむなく減便したが全路線を運行している。しかし、個人企業レベルとの見方で放置すれば、大変なことになる。支援が急務と思うが。

答弁 島内の交通手段は、マイカーに依存した社会ですが、高齢化率を考慮する時、マイカーに過度に依存しない地域づくりは急務です。このような状況を少しでも打開するため、バス事業者・旅客船事業者・地元自治体

・利用者代表などで活性化委員会を組織し、利用者ニーズの把握及び旅客船との乗り継ぎ改善策並びに「オリーブ百年祭」を想定した利便性の向上などについて、検討を進めます。

路線バスの存続に向け、利用者の増加を目的としたバス事業者が行う取り組みについては、行政として可能な範囲で支援していきます。



観光客も利用 島の路線バス(オリーブ公園口)

後期高齢者医療制度の見直しを



鍋谷真由美 議員

鍋谷議員 来年4月導入の後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者が国保や健保を脱退させられ、平均月6200円を年金から天引きされ、滞納すれば保険証をとりあげ資格証明書などを発行する制度である。

この無慈悲な制度の実施凍結や、保険料軽減措置・資格証発行の中止などを国と広域連合に求めるべきだ。

答弁 高齢者の医療費が高騰するなか、現役世代の支援と、高齢者自身の負担を明確化し、国民皆保険を持続するために施行される制度です。

所得に応じて減免制度が設けられることになっていきます。資格者証の交付は慎重に行いたいと考えています。

内海ダム再開発による新たな水源確保は問題



町民医療の拠点(内海病院)

鍋谷議員 合併後の水需要予測の人口推計と水の必要量の積算根拠は、水道施設の改修などに充てるべき内部留保資金を、内海ダム再開発事業の負担金や人件費等に充てることは、水道料金にはねかえり、住民負担が増えるのでは。

答弁 人口は住民基本台帳を元に、水需要は生活・業務営業・工業・その他用水ごとに実績値を元に予測して、必要量の算定をしています。

事業参加の目的は、新規水道施設の調達であり、新規水源開発にかかる経費に留保資金を充てることはならぬ問題なく、料金改定も必要ないと考えます。

委員会活動報告

(議会の閉会中に、主要な案件などを調査・審議したものです)

常任委員会

総務

平成19年7月11日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の説明を受けた後、各委員より質疑をし、次の意見を出しました。

○選挙公報について

次期町長、町議会選挙より、公報を発行する方向で進めているが、配布方法については、早い時期の配布を願いたい。

○投票所について

行革の一環として集約もやむを得ないが、再編については、地元と十分協議し、周知の徹底を図りたい。

○行政文書配達員について

合併後、文書配達が郵送に切り替えられたが、自治会の共助、協力を推進するうえからも、配達希望があれば、経費を考慮に入れ、検討願いたい。

教育民生

平成19年8月6日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の説明を受けた後、各委員より質疑をし、次の意見を出しました。

○教育委員会所管の施設配置・運営体制の見直しについて

・社会教育課
① 集中改革プランは行政内部で検討集約したものであるが、施設を出来る限り存続するよう対処し、廃止に際しては対象地区への説明を十分に願いたい。

・学校教育課

① 早い時期での策定委員会の策定を望むが、住民の意向を組み入れることが出来るよう、人選願いたい。
② 福田小学校の統合が決まったが、在学児の制服支給等、負担軽減に努められたい。

○不燃ごみ・粗大ごみの有料化について

① 有料化するとごみの減量化・処分場の延命につながるが、負担金の使途については少子化対策等、町の重点施策に活用願いたい。
② 粗大ごみの有料化については、町単独のみでの施行は不法投棄につながるのを、土庄町と歩調を合わせるよう、対処願いたい。

建設経済

平成19年8月8日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の説明を受けた後、各委員より質疑、意見がありました。

○食糧産業クラスター事業の概要について

平成17年8月に設立した「小豆島食料産業クラスター協議会」の概要、現在取り組んでいる事業について説明を受けた。

その中で、成果がでてい(財)食品産業センターが実施している「本場の本物」の認証の状況、クラスター協議会の今後の検討課題について、状況説明を求めた。当町の主幹産業が現在取り組んでいる事業の一部の説明であったが、町とともに継続して協力体制の取り組みが重要であるとの認識を得た。

特別委員会

内海ダム

平成19年9月10日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の説明を受けた後、各委員より質疑をし、次の意見を出しました。

○内海ダムの再開発に関する事項

平成19年8月25日に土地収用法に基づき、内海ダム再開発事業の説明会開催の

内容、また事業の進捗状況について説明を受けた。

その中で、今回説明会を行った、県・町の考え、土地所有者の反応について状況説明を求めた。

県・町が進めている事業の経過報告であったが、今後も県・町協力体制で、土地所有者との、なお一層の合意形成に向け、事業完成に努力を願いたい。



国土交通省平井副大臣 内海ダム再開発現地視察

議会日誌

7月

- 11 総務常任委員会（選挙公報についてはか）

8月

- 6 教育民生常任委員会
（施設配置・運営体制の見直しについてはか）
- 8 建設経済常任委員会
（食料産業クラスター事業の概要について）
- 15 第27回小豆島まつり
- 21 小豆郡町議会議員研修会

9月

- 5 小豆郡議長会
- 6 香川県町村議会議長会定例会 〔高松市〕
- 10 内海ダム特別委員会
- 11 議会運営委員会
- 18 第3回定例会
議会広報編集委員会（議会だより第6号の編集）
- 19 建設経済常任委員会（付託議案審査）
- 20 議会運営委員会
第3回定例会
全員協議会
（防災行政無線、オリーブ百年祭について）
- 21 小豆地区広域行政事務組合議会 〔土庄町〕

10月

- 4 議会広報編集委員会（議会だより第6号の編集）
- 5 議員懇談会（小豆島町中期財政計画について）
- 9~10 第48回四国地区町村議会議長会研修会〔鳴門市〕
- 12 議会広報編集委員会（議会だより第6号の編集）
- 29 香川県町村議会議員研修会 〔高松市〕
- 30~31 決算特別委員会



森口久士 記

例年がない暑かった夏も過ぎ、野山も秋らしく感じられる季節となりました。9月18日に開かれた定例会には、大勢の方々が傍聴にこられました。特に女性の方が多く、関心をもたれ声をかけ合ってこられたようです。尋ねてみますとキラリレディースの会のメンバーの方でした。最初は聞きとりにくかったり問題もあったようですが、直接聞くことによって議会の様子が少しでもわかっていただいたのではないのでしょうか。皆さんも一度傍聴におこし下さい。

私たち広報委員は限られた紙面の中でどのように表現すれば読者にわかっているだけのか苦勞しています。だれにでも関心をもって読んでいただける広報をめざして頑張っていますので、今後ともご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

住 民 の 声



『自慢の地区北地』

小豆島町自治連合会代議員 明田 大勝（北地）

「先生、池田の何処に住んでん？」 「北地じゃ」「フーン そんな処しらんワ」私が小高に勤務していた頃、生徒とよく交わした会話である。我が北地は池田では大きく存在感のある地域であると自負している。ところが内海の生徒にとっては、ほとんど存在感がないことに愕然としたもので

ある。退職後、自治会総代になり、その生徒との会話を思い浮かべた。池田前に立ち、北の山側を見ると、ほぼ全域が200戸、約540人が住む我が北地である。イマージュセンターに車を止め、一度は我が北地が誇る北の斜面を散策して下さい。オリーブの風薫り、ミカンの花咲くこの斜面、特に晩秋のミカンが黄金色に輝いた

頃、きつと訪れた人々を感じさせてくれることでしょう。農免道路のほぼ中央にあるふれあい公園から眼下を一望し下つてくると、白い素麺が靡のように涼やかに垂れ下がっています。「そうです」今は鳥中に広がっている「鳥の光」の原点です。「どうぞご覧下さい」隣の郷が醤油の中心地なら、農業の町池田の中心は、オリーブ・ミカン・素麺と、

鳥を代表する産物を生み出す北の斜面北地です。我々は地域の先輩方々が築いて下さった有形無形の立派な財産を守るため、近年、自主防災組織を立ち上げ、安全・安心で住みよい地域づくりを目指しています。更に、「地区衛生町ぐるみ実践モデル事業」の指定を受け、その活発な活動により、「北地地区に住んでよかった」「住み続けたい」と思う地域にしていきたいと頑張っています。皆さん、是非一度、町の夢舞台北地を訪ねて来て下さい。

編集後記

例年がない暑かった夏も過ぎ、野山も秋らしく感じられる季節となりました。9月18日に開かれた定例会には、大勢の方々が傍聴にこられました。特に女性の方が多く、関心をもたれ声をかけ合ってこられたようです。尋ねてみますとキラリレディースの会のメンバーの方でした。最初は聞きとりにくかったり問題もあったようですが、直接聞くことによって議会の様子が少しでもわかっていただいたのではないのでしょうか。皆さんも一度傍聴におこし下さい。

私たち広報委員は限られた紙面の中でどのように表現すれば読者にわかっているだけのか苦勞しています。だれにでも関心をもって読んでいただける広報をめざして頑張っていますので、今後ともご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。